

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	当社公式WEBサイトに掲載します。 (http://www.dainichi-net.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
定時株主総会	毎年6月中	株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
株主確定基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 配当 3月31日 その他必要ある時は、あらかじめ公告いたします。		

お問い合わせ内容	お問い合わせ先	
	証券会社などに口座をお持ちの場合	特別口座の場合
<ul style="list-style-type: none"> ● 氏名、住所などのご変更 ● 単元未満株式の買取・買増請求 ● 配当金の受取方法、振込先のご変更 	お取引のある証券会社などにお問い合わせください。	※みずほ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。
<ul style="list-style-type: none"> ● 郵便物の発送・返戻に関するお問い合わせ ● 未払配当金に関するご照会 	※みずほ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。	

※ みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル：0120-288-324 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4

公式WEBサイトのご案内

公式WEBサイトでは「製品情報」や「お客様サポート」から「会社情報」までわかりやすくご案内しております。

また、株主・投資家の皆様には、当社をよりご理解いただくために、「株主・投資家情報」で決算短信や財務諸表など各種資料を掲載しております。

<http://www.dainichi-net.co.jp/>

ダイニチ 検索



ダイニチ工業株式会社

〒950-1295 新潟県新潟市南区北田中780番地6

ダイニチ工業株式会社 株主通信

第55期 上半期のご報告(平成29年4月1日～平成29年9月30日)



【証券コード：5951】



新しく生み出す技術を核に
役立つ商品を開発するとともに、
販売して下さる小売店様を大切にし、
お客様には長く愛情を持って
使い続けていただきたい。

こうした思いは、当社の全ての仕事を
支える基本理念となっています。

目次

- トップメッセージ 1
- 当第2四半期の概況 2
- 平成29年度上半期のトピックス 3
- 特集
- ブルーヒーター累計生産台数
 3,000万台達成! 5
- お客様の生活を支える
 ダイニチのモノづくり 7
- 決算のご報告/会社概要/株式の状況 9
- 株主メモ/公式WEBサイトのご案内 裏表紙

Top Message トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご厚情を賜り、誠にありがたくお礼申し上げます。

当第2四半期累計期間（平成29年4月1日～平成29年9月30日）におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和を背景に企業収益や雇用情勢は緩やかな回復基調で推移しました。

しかしながら、国内では住宅建設が弱含んできたことに加え、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響には留意が必要で、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

こうしたなかにあって当社は、市場や住環境の変化に対応した商品開発に取り組んでまいりました。

主力商品であります石油暖房機器では、お客様の要望に即した商品開発を行ない、全10タイプ32機種の商品を発売して冬の需要期に備えております。

加湿器におきましては、3シリーズ17機種を発売し販売店への導入を進めました。

当第2四半会計期間は、暖房機器及び加湿器は販売

店への商品導入期のため売上は僅少であります。石油暖房機器の輸出が減少したものの、国内向けにおいて量販店の導入及び高付加価値商品の出荷が順調に進み、売上は前年同期実績を上回りました。

また、主に研究開発費の増加により販売管理費が増加したことから営業損失と経常損失は前年同期実績より拡大しました。四半期純損失につきましては、税効果会計の影響により、前年同期実績より赤字幅が縮小しました。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

当第2四半期の概況

当第2四半期累計期間の業績は、売上高は48億43百万円（前年同期比2.6%増）、営業損失は2億73百万円（同43百万円増）、経常損失は1億91百万円（同72百万円増）、四半期純損失は1億48百万円（同19百万円減）となりました。

通期の見通し

第55期におきましては、売上高187億円、営業利益8億円、経常利益8億円、当期純利益5億円を見込んでおります。

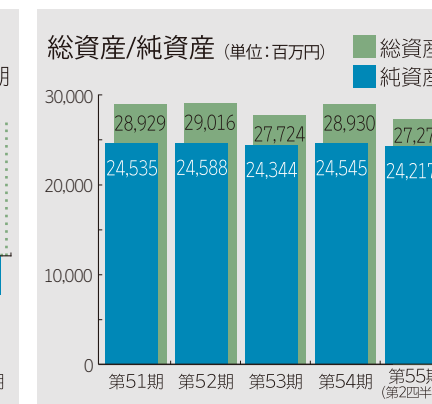
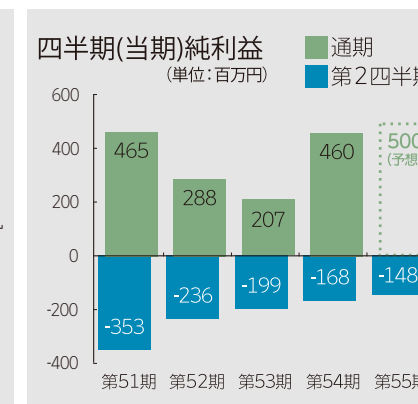
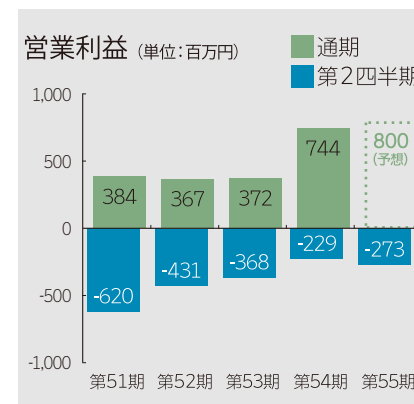
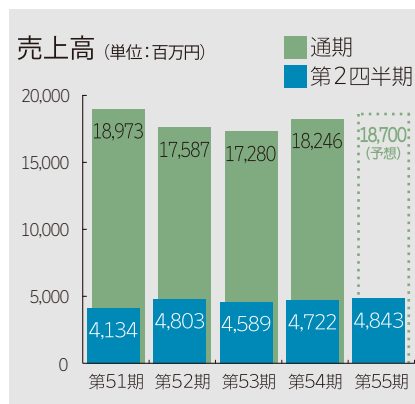
業績は原油価格の動向や冬期の気候条件などにも影響されますが、当社商品への期待は根強いものがあると実感しております。

通期目標の達成に向けて全力で取り組んでまいりますので、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年11月 代表取締役社長 吉井 久夫



財務ハイライト



平成 29 年度上半期のトピックス

4月 ブルーヒーター累計生産台数 3,000 万台達成

昭和 46 年に業務用石油ストーブとして産声をあげた「ブルーヒーター」。

発売以来、多くのお客様にご愛顧いただき、累計生産台数 3,000 万台を達成しました。

詳細は 5-6P へ



●記念セレモニーの様子

9月 加湿器平成 29 年モデル発売

業界 No.1※2 の加湿量のパワフルモデル HD-242、「ターボ運転」を搭載した RX シリーズをはじめ 3 シリーズ 17 機種を発売しました。

詳細は 8P へ



※2 家庭用加湿器において1時間あたりの最大加湿量2,400mL/h (室温20℃、湿度30%の場合)。平成29年7月1日現在。

平成29年4月

5月

6月

7月

8月

9月

8月 家庭用石油ファンヒーター平成 29 年モデル発売

消火時の二オイをさらに低減※1した「消臭宣言」を搭載し、幅広い年代で使いやすいプレミアムモデル KE タイプをはじめ、バックライトの明るさを軽減できる「減光セレクト」を搭載した SDR タイプなど、9 タイプ 29 機種を発売しました。

詳細は 7P へ



FW-3317KE

FW-3717SDR

※1 温風吹出口近傍でX管にて弱燃焼から消火した時の炭化水素濃度を測定。当社平成29年機種 (FW-4717SDR) と平成28年機種 (FW-4716SDR) を比較した場合。

ブルーヒーター累計生産台数 3,000 万台達成記念「新之助」プレゼントキャンペーン

ブルーヒーターの累計生産台数 3,000 万台達成を記念して、抽選で 3,000 名様に新瀉の新しいブランド米「新之助」(5kg) が当たるプレゼントキャンペーンを実施しております。

対象商品は「消臭宣言」を搭載した 3 タイプ計 16 機種、全国の主要家電量販店約 2,200 店舗にて展開しております。

「新之助」キャンペーン Web サイト
<https://www.dainichi-net.co.jp/campaign.html>



テレビCMが始まりました!

平成29年度秋冬のCMは男性プレゼンターが今年の新機能をPRします!



●家庭用石油ファンヒーター「消臭宣言」編



●加湿器「ターボ運転」編

放送予定

BSジャパン 毎週金曜18:00~

「ガイアの夜明け」

BSジャパン 毎週木曜19:55~

「開運!なんでも鑑定団」

テレビ東京系列11月26日(日)19:54~

「緊急SOS!池の水ぜんぶ抜く大作戦」

ChannelDainichi

こちらからご覧いただけます。

<https://goo.gl/xYFPc1>



特集 ブルーヒーター累計生産台数 3,000 万台達成！

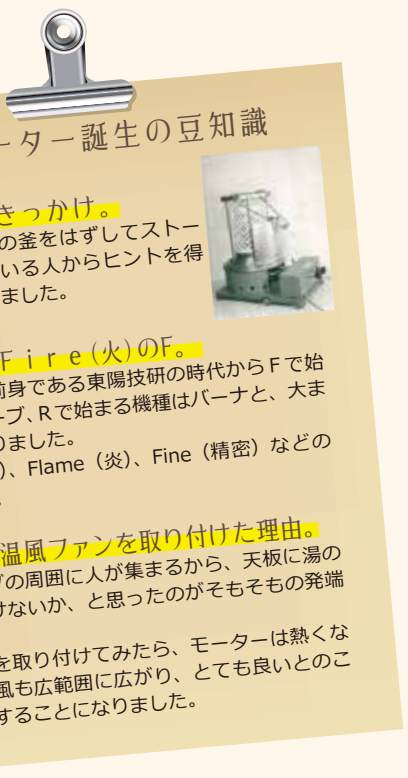
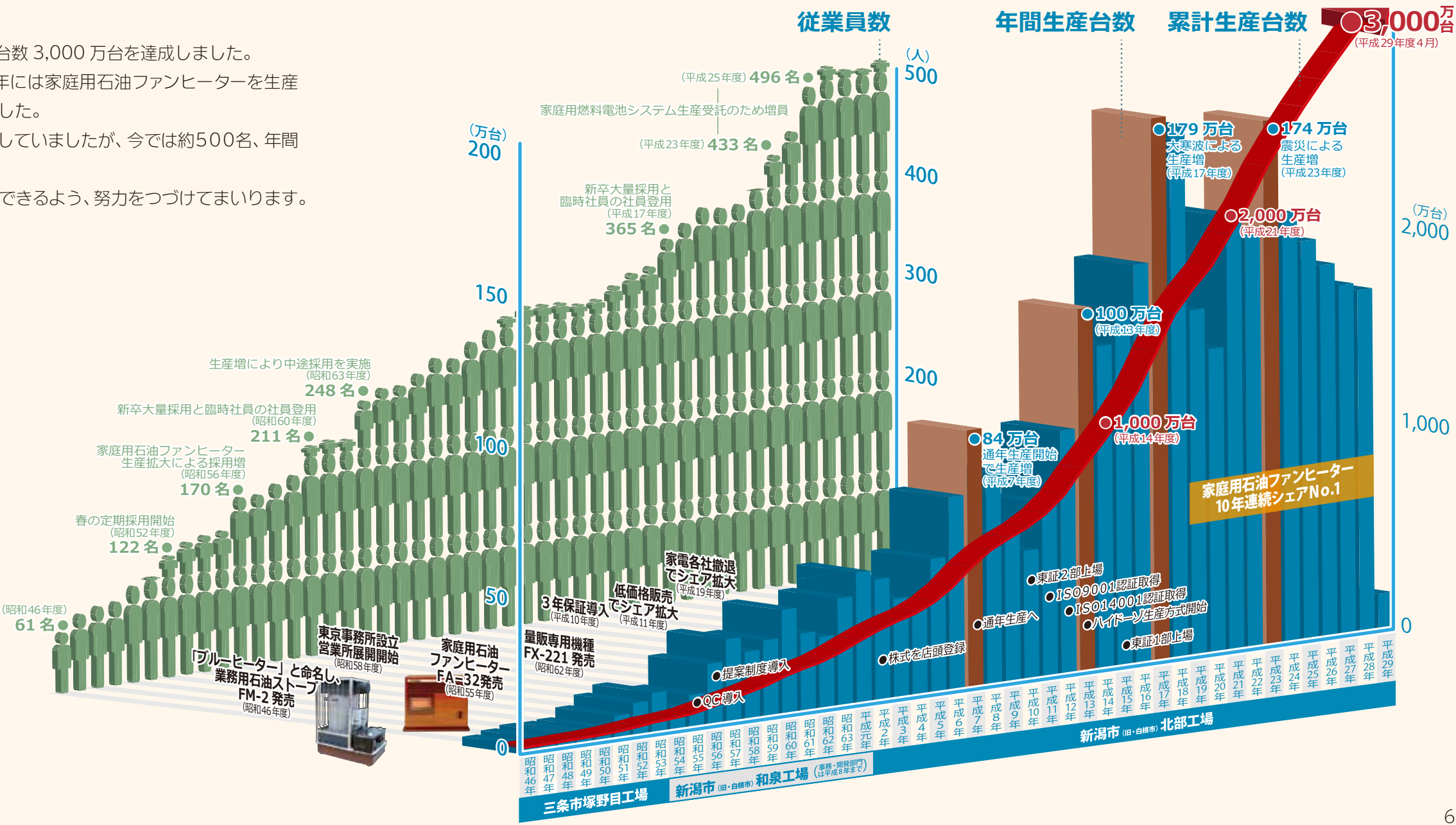
平成29年4月にブルーヒーターが累計生産台数 3,000 万台を達成しました。
 昭和46年に業務用石油ストーブ、昭和55年には家庭用石油ファンヒーターを生産開始、その間多くのお客様にご愛顧いただきました。
 はじめは従業員61名で年間 3,100 台を生産していましたが、今では約500名、年間約 120 万台を生産するまでに成長しました。
 これからも皆様に確かな品質の商品をお届けできるよう、努力を続けてまいります。

ブルーヒーター誕生の豆知識

F・M-2開発のきっかけ。
 気化式石油風呂釜の釜をはずしてストーブとして使用している人からヒントを得てFM-2を開発しました。

頭文字のFはFire(火)のF。
 ダイニチ工業の前身である東陽技研の時代からFで始まる機種はストーブ、Rで始まる機種はバーナと、大まかなルールがありました。
 FにはFire(火)、Flame(炎)、Fine(精密)などの意味があります。

FMタイプに温風ファンを取り付けた理由。
 社内でストーブの周囲に人が集まるから、天板に湯のみや灰皿を置けないか、と思ったのがそもその発端でした。
 試しにファンを取り付けてみたら、モーターは熱くならないし、温風も広範囲に広がり、とても良いとのこととで商品化することになりました。

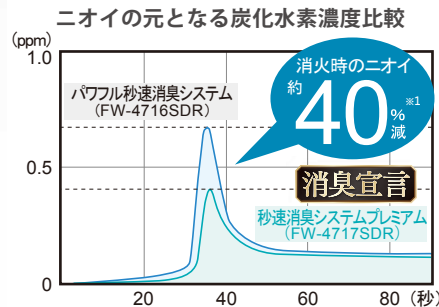
特集 お客様の生活を支えるダイニチのモノづくり

いよいよ平成29年度の新商品が販売開始となりました。
今年度も豊富なラインナップを揃え冬の需要期に備えております。

家庭用石油ファンヒーター

消火時の二オイさらに低減^{※1}で、この冬、ダイニチは「消臭宣言」

家庭用石油ファンヒーターは、新機能として「秒速消臭システムプレミアム」を搭載(KE・SDX・SDRタイプ)。従来システムよりもバーナの高温時間を長くすることで、燃え残ったガスをしっかり燃やしきり、消火時の二オイを約40%^{※1}減らしました。



—消火時の二オイ さらに低減^{※1}—

消臭宣言



NEW KEタイプ

プレミアム機能を搭載したコンパクトタイプ。大型オレンジ液晶や「Wとって」付き5Lタンクの採用で「わかりやすく使いやすい」新モデルです。



SDRタイプ

最上位機種SDRタイプは新色「コスミックブルー」が登場。液晶の明るさを軽減できる「減光セレクト」などの機能も搭載しました。

加湿器

よりパワフルに、すばやく空間を加湿

HD-242は、家庭用のハイブリッド式加湿器(温風気化/気化式)において業界でNo.1^{※3}の加湿量を実現したパワフルモデルです。

また、RXシリーズでは従来機能に加えて設定湿度

まで標準モードに比べ約15%加湿量をアップしてお部屋を加湿する「ターボ運転」モードを搭載しました。

一時的に加湿量を増やすことで、より早くお部屋をうるおすことができます。



NEW HD-242

パワフルでありながら本体サイズは従来機種(HD-182)と同一でコンパクトに設置できます。最小運転音は17dBと、仕事などを妨げません。



RXシリーズ

「ターボ運転」モードの他、就寝時により眠りにつきやすいよう、運転音と表示部の明るさを落とした「おやすみ加湿」モードも好評いただいております。

※1. 温風吹出口近傍でX管にて弱燃焼から消火した時の炭化水素濃度を測定。当社平成29年機種(FW-4717SDR)と平成28年機種(FW-4716SDR)を比較した場合。
※2. 平成19年度～平成28年度(年度=4月1日～3月31日)石油ファンヒーターメーカー別販売台数シェア(シェア数値/平成19年度=49%・平成20年度=59%・平成21年度=53%・平成22年度=49%・平成23年度=49%・平成24年度=50%・平成25年度=54%・平成26年度=53%・平成27年度=54%・平成28年度=52%) / 全国有力家電量販店の販売実績集計 / GfK Japan調べ。

※3. 家庭用加湿器において1時間あたりの最大加湿量2,400mL/h(室温20℃、湿度30%の場合)。平成29年7月1日現在。
※4. 平成25年度～平成28年度(年度=4月1日～3月31日)加湿器メーカー別数量・金額シェア(全国有力家電量販店の販売実績集計 / GfK Japan調べ)。
※5. 同クラス気化式・ハイブリッド式(温風気化/気化)における連続運転可能であり、かつ最大加湿能力を発揮するモード(当社ではハイブリッド式加湿器[標準]モードを指す)運転時の最小運転音[RXシリーズは13dB]。平成29年7月1日現在。

決算のご報告

貸借対照表

(単位:千円/千円未満切捨)

	当第2四半期 会計期間 平成29年9月30日現在	前事業年度 会計期間 平成29年3月31日現在
流動資産	19,990,021	21,765,426
固定資産	7,289,968	7,165,398
有形固定資産	5,567,892	5,735,482
無形固定資産	23,136	27,811
投資その他の資産	1,698,939	1,402,103
資産合計	27,279,990	28,930,824
流動負債	1,952,758	3,371,038
固定負債	1,109,401	1,014,677
負債合計	3,062,159	4,385,715
株主資本	23,587,637	24,125,503
評価・換算差額等	630,193	419,605
純資産合計	24,217,830	24,545,108
負債純資産合計	27,279,990	28,930,824

キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円/千円未満切捨)

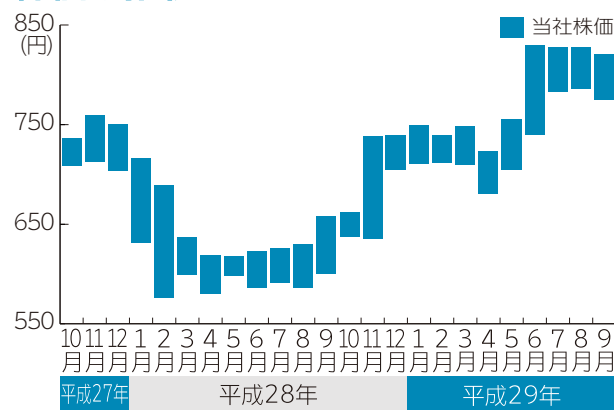
	当第2四半期 会計期間 平成29年9月30日	前第2四半期 会計期間 平成28年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,246,259	△6,414,251
投資活動によるキャッシュ・フロー	△155,852	△96,388
財務活動によるキャッシュ・フロー	△388,398	△388,470
現金及び現金同等物に係る換算差額	60	△1,276
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,790,450	△6,900,387
現金及び現金同等物の期首残高	14,871,644	11,895,475
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,081,193	4,995,087

損益計算書

(単位:千円/千円未満切捨)

	当第2四半期 累計期間 平成29年4月1日 平成29年9月30日	前第2四半期 累計期間 平成28年4月1日 平成28年9月30日
売上高	4,843,327	4,722,419
売上原価	3,234,912	3,172,011
売上総利益	1,608,414	1,550,407
販売費及び一般管理費	1,882,169	1,780,183
営業損失(△)	△273,755	△229,775
営業外収益	82,754	112,634
営業外費用	31	1,276
経常損失(△)	△191,032	△118,418
特別損失	10,021	931
税引前四半期純損失(△)	△201,053	△119,349
法人税、住民税及び事業税	10,950	10,950
法人税等調整額	△63,173	37,976
四半期純損失(△)	△148,829	△168,275

株価の推移



会社概要 / 株式の状況

会社概要

平成29年9月30日現在

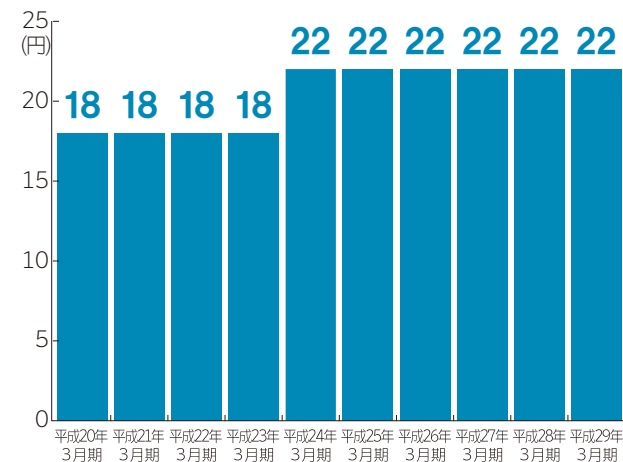
社名	ダイニチ工業株式会社
英文社名	Dainichi Co.,Ltd.
本社	〒950-1295 新潟県新潟市南区北田中 780 番地 6
設立	昭和 39 年4月1日
資本金	40 億 5,881 万円
従業員数	505 名

株式の状況

平成29年9月30日現在

発行可能株式総数	54,767,100 株
発行済株式の総数	19,058,587 株
株主数	3,686 名

1株当たりの配当金の推移



大株主(上位10位)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社ビー・エッチ	1,841	10.41
一般財団法人 佐々木環境技術振興財団	1,440	8.14
株式会社ダイニチビル	1,361	7.70
ダイニチ工業従業員持株会	1,037	5.86
株式会社第四銀行	850	4.81
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	634	3.59
吉井 久夫	570	3.23
吉井 久美子	556	3.15
渥美 るみ子	391	2.22
吉井 唯	378	2.14

(注)当社は自己株式を 1,375,129 株保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。なお、持株比率は発行済株式の総数から自己株式を除いて計算しております。

所有者別株式比率

